

提供いただいた矢旗で”ハッピー”が完成

昨年度の体育大会のことです。1年生がソーラン節を踊る際、ハッピーを着た方が栄えると考え、第七中学校が所有するハッピーを借りることにしました。ソーランリーダーの生徒が、最前列でハッピーを着用して踊りましたが、演技に迫力が増したことから、一中でもハッピーを作成することにしました。

材料となる「矢旗」の提供を松高校区の回覧板等で呼びかけると、多くの矢旗が届きました。矢旗からハッピーを作られたことがある松崎町の高瀬弘子様に作り方を指導していただくとしたところ、「子ども3人の母校でもあり、地域に住む人間として、一中の力になりたい。」とおっしゃり、60枚近いハッピーを独りで作り上げてくださいました。

先日、学校に完成したハッピーを届けに来られた際、生徒会役員に試着してもらいました。虎や武将の絵が入ったハッピーに、みんな大喜びでした。秋に行う体育大会で、ソーラン節や応援団の衣装として活用できたらいいと考えています。

今後、代陽校区や八代校区にも矢旗提供をお願いしていきたいと考えていますので、地域や保護者の方からも呼びかけていただければ幸いです。



【中央が高瀬弘子様】

3年生の集団行動コンクール

5月8日(木)の2・3校時を利用して「3年生集団行動コンクール」を行いました。体育の授業で学習している「集団行動」を学級対抗で演技することで、クラスの団結や協力の意識を持たせ、集団で創り上げる喜びや達成感を味わわせることを目的に行っています。

演技内容は、隊列の変化、隊列を崩さずに歩行や駆け足を行う等の動きを、指揮者の指示に従って行います。どのクラスも、優勝に向けて真剣に取り組み、甲乙つけがたい出来映えでした。審査員の先生方も頭を悩ませた結果、1位に2組、2位に6組、3位に5組、最優秀指揮者賞に2組の中村美心(みう)さんが選出されました。新年度が始まって1ヶ月、新しいクラスのメンバーと絆を深める機会となりました。この団結力で、最後の1年、すばらしい思い出を作っていってほしいと思います。



【2組 指揮者：中村美心】



【6組 指揮者：軸丸友裕】



【5組 指揮者：宮崎広季】

教育実習の先生よろしくお願いします

5月12日(月)、2名の教育実習生が来られたことを受け、臨時の生徒朝会を行い、実習の先生の紹介を行いました。

上村芽生(いぶぎ)先生は、担当教科は保健体育、担当学級は1年6組です。橋崎聡汰(そうた)先生は、担当教科は美術、担当学級は3年2組となっています。実習期間は、上村先生が4週間、橋崎先生が3週間です。短い期間ですが、一中生と沢山の思い出を作ってほしいと思います。よろしくお願いします。



【上村先生(保健体育)】



【橋崎先生(美術)】